

若手プロジェクトチーム(Aチーム) 業務改善・効率化提言

社会的要請

国民生活の安全・安心の確保のため

社会保障費の充実に先立ち
国民の理解を得るため

厚生労働省の パフォーマンスの向上

コスト削減

不要業務の縮減

- ①国会業務の改善 → 質問通告の改善、コストの明確化 等
- ②業務補助室の設置 → 調べ物、資料のデータベース化、会議準備等を行う専門部署の創設
- ③公文書の発送業務の簡素化 → 公印省略範囲の拡大、メールの活用

個々の職員の生産性の向上

- ①業務効率の向上
→ 4s（整理整頓等）の推進、IT活用
- ②能力向上
→ 人材像の提示、研修充実、キャリアカルテ導入

組織としての生産性向上

- 人事配置の適正化
→ 業務量の実態把握、課室長等の人事評価への反映、政策の優先順位付け、柔軟な人事

コストの揭示（見える化）

- ①各月の光熱水料等の公開
→ 電気使用料金、タクシー代等の公表
- ②コピー機印刷の金額等の揭示

消耗品の管理の徹底

時間に対するコスト意識の醸成

- 職員の在庁時間の管理

業務改善を根付かせるため

職員のモチベーションUP

制度化する

PDCAサイクルを回す
専任改革担当の常置

リーダーシップの発揮

- ・マネジメント意識の向上
- ・コミュニケーションの活性化
- ・ビジョンの明確化